

岐阜県の上野範文危機管理室長(40歳以上)の事故だった。副統括監が冒頭「北アでは今年夏、遭難が相次ぎ、特に中高年の安易な登山が問題になった。他県の取り組みにも学ば

年(40歳以上)の事故だった。副統括監が冒頭「北アでは今年夏、遭難が相次ぎ、特に中高年の安易な登山が問題になった。他県の取り組みにも学ば

大坂国税局の税務調査を受け、結核菌に付いた店舗経営や宅配レンタル、インターネットショッピングなど事業とのに分かれた。社を1社に統合。同年10月、統合会社もC

税滞納者の過払い金返還訴訟

伊那市取り下げ方針

「滞納分支払い」業者申し出

伊那市が、市税を滞納している市内の男性が消費者金融会社「コムレイド」(長野市)に利息を払い過ぎているとして、男性に代わって過払い金などの返還を求めた訴訟の第1回口頭弁論が8日、地裁伊那支部(気賀沢耕一裁判官)であった。市側は、25日までに税滞納分を払えば訴えを取り下げる方針を同社に伝えたことを明らかにした。

一部返還に疑問の声も

伊那市による市税滞納者の過払い金返還請求訴訟は、市側が「所期の目的」(酒井茂副市長)の滞納解消を重視し、早期解決を図る見通しだ。ただ、市は国税徴収法に準じて債権全額を差し押さえており、専門家は一部のみ返還を受けられることを疑問視。滞納者の生活再建への支援を求める声もある。

市税務課によると、男性の滞納額は2004～09年度の計37万円余。この回収のため、消費者金融会社への過払い金320万5千円の返還請求権を差し押さえ、利息を合わせ432万円余の返還を求め提訴。滞納分以外は男性に返す方針だった。中村幸子課長は「不動産など同様、債権全額を差し押さえた」とす

れを受け市側は同日、全額返還を求める訴えを取り下げたという。市は男性の過払い金を回収して滞納分に充てるため、昨年7月に男性の過払い金返還請求権を差し押さえた。今年9月に市議会で関係議案が全会一致で可決され、同支部に返還を求めるのが原則」とする。

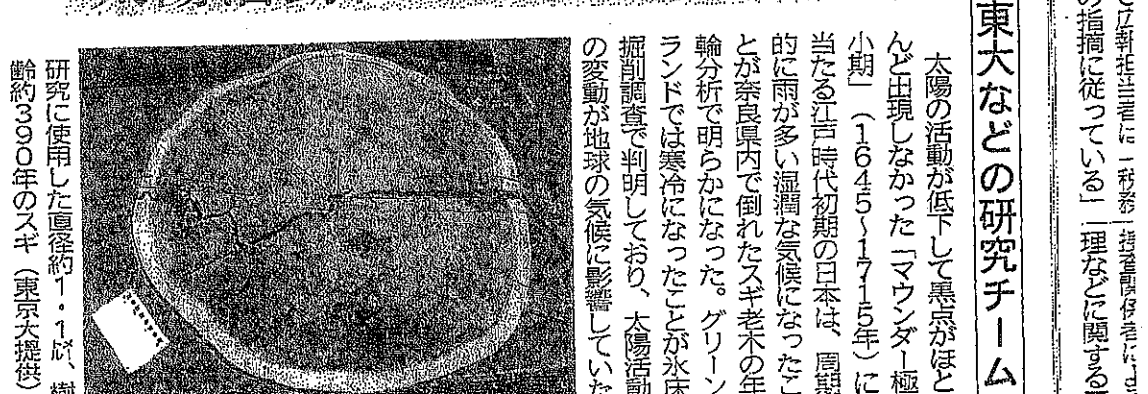
未成年者喫煙で 店や親の摘発増

県内で2008年の月に導入されて以降、女士子がなつてもたばこを吸える販売店や、未成年者の親が未成年者喫煙禁止法違反容疑で摘発される事例が急増している。県青少年課は、自販機で買えなくなった未成年者が対面販売に流れ、違反行為が見えやすくなったと説明。景気低迷や禁煙の広がり、大幅値

同谷書は今年2月、高校生2人にたばこを売ったとして同法違反の疑いで同谷市の70代の女性たばこ店経営者を書類送検。女性は「店の売り上げが少なく、悪いことと知りながら売ってしまつた」と反省

同書は6～7月には、県内の子どもが喫煙していることを知りながら止めなかった疑いで、松本市などの母親3人を書類送検している。一方、喫煙で補導された未成年者は10月末現在、1365人で、前半期約1700人

太陽活動低下 日本は湿潤に



東大などの研究チーム 本陽の活動が低下して寒気がほとんど出現しなかった「マウンダー極小期」(1645～1715年)に当たる江戸時代初期の日本は、周期的に雨が多い湿潤な気候になったことが奈良県内で倒れたスギ老木の年輪分析で明らかになった。グリーンランドでは寒冷になったことが氷床掘削調査で判明しており、太陽活動の変動が地球の気候に影響していたことが裏付けられた。研究チームが8日公表した。米科学アカデミーに発表する。

東大大気海洋学研究所教授によると、太陽の活動は11年周期(マウンダー極小期)は14年周期、磁場線(同28年周期)で変動の影響については、ラムダをめぐってさまざまな仮説が立てられてきた。マウンダー極小期は二酸化炭素(CO2)の減少のため、太陽活動が弱くなる。研究チームで知られる奈良・室戸年、台風7号で倒れたスギなどの年輪を分析する。年輪に含まれる炭素同位体比率が低いことは、地球に飛来する宇宙放射線が増えたことが判明した。CO2の比率が16～18%の比率が多かったことが分

江戸初期の気候 スギの年輪から分析